

国際交流基金日本語パートナーズ派遣事業

大分県推薦プログラム参加者募集

大分県では、国際交流基金と連携し、インドネシアの中学校や高校で、現地の日本語授業のアシスタントや日本文化紹介活動等を行い、帰国後は現地で経験などを県民に伝えていただく**日本語パートナーズ大分県推薦プログラム**への参加者を募集しています。日本語授業のアシスタントや日本文化・大分県の魅力を紹介する活動をしながら現地の人達と交流する、大分県とインドネシアとの架け橋になってみませんか？

日本語パートナーズ派遣事業とは？

外務省の所管する独立行政法人国際交流基金が実施する事業です。

日本語教育支援の中核事業として幅広い世代の人材をアジアの中等教育機関等に派遣し、派遣先機関の日本語教師と日本語学習者のパートナーとして、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするとともに、教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、アジアの日本語教育を支援します。

同時に、日本語パートナーズ自身も現地の言語や文化についての学びを深め、アジアの架け橋となることを目標とします。



どんなことをするの？

1. 授業のサポート
派遣先機関の日本語教師のアシスタントとして、授業のサポートを行います。
2. 現地の人たちとの交流
日本文化の紹介を通じて、派遣先の生徒や地域の人達と交流します。
3. 言語や文化の習得
現地で学んだ言葉や文化を積極的に活用し、情報を発信します。

募集人数・スケジュール

インドネシア21期（1名）、2024年8月～2025年3月派遣（予定）

2023年6月26日（月）

応募締切

7月～9月下旬

選考（面接）、合否通知

2024年2～3月

派遣前研修（約4週間）

2024年8月（予定）

※立命館アジア太平洋大学（別府市）での合宿
インドネシア派遣開始

主な応募要件

- 生年月日が1956年4月1日から2003年9月7日までの方
- 日本国籍を有し、日本語母語話者である方
- 大分県内在住者、県内の学校等に在学中又は県内企業にお勤めの方
- 現地の一般的な水準の生活環境（住居、暮らしぶりなど）に対応できること
- 日常英会話ができること
- 派遣前研修に全日程参加できること
※立命館アジア太平洋大学（別府市）で約4週間実施予定
- 過去に日本語パートナーズとして派遣された経験がないこと など

派遣の待遇等

- 滞在費：月額 11万円程度支給
- 住 居：国際交流基金が提供
（住居賃料は国際交流基金が負担。光熱費、通信費は除く）
- その他：往復航空券、業務に必要な教具等、
外国語研修手当（派遣期間中）、支度料（赴任時）、
移転料、海外旅行保険 等

応募方法

応募用紙及び必要書類を2023年6月26日（月）までに下記大分県の事務局まで郵送もしくは持参にてご提出下さい。

（開庁時間：平日8時30分から17時15分まで）

※応募にかかる詳細及び応募用紙は大分県のHPでご確認下さい。

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/nihongopartners2023.html>

※日本語パートナーズに係る詳細は国際交流基金のHPをご参照ください。

<https://asiawa.jpf.go.jp/partners/>

事務局・お問い合わせ

大分県 企画振興部 国際政策課 須藤

〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1（本館3階）

TEL：097-506-2045 FAX：097-506-1723

E-mail：a10140@pref.oita.lg.jp

